

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡県桜の園（身体障害者福祉施設） 静岡県桜の園（重度障害者生活訓練ホーム）		
課 名	障害福祉企画課		
指定管理者名	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部静岡県済生会		
指定期間	令和4年4月1日 ～令和9年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和8年5月27日（水）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 田口 博之（障害福祉企画課長） ②委 員 清水 一弘（参与兼障害者支援推進課長） ③ “ 新田 悦夫（葵福祉事務所障害者支援課長） ④ “ 堀越 英宏（静岡県障害者協会 副会長） ⑤ “ 酒井 美香（静岡県重症心身障害児（者）を守る会会計）		
評価点 (各委員平均点)	82.4点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	総合評価結果を踏まえ、事業は計画どおり実施され、概ね良好な施設運営であったと考える。 本施設については、重度身体障がい者支援の拠点として、入所・通所・短期入所を一体的に提供し、概ね安定した運営が行われているものと認識している。特に、医療機関との連携や防災対応、職員研修の実施など、安全・安心なサービス提供に向けた取組は着実に実施されている。 一方で、利用者数が目標に達していない状況や、支援のばらつきに関する意見が見られることから、利用促進や支援体制の整理・充実について、引き続き取り組んでいくことが望まれる。 今後の施設の在り方については、利用ニーズの変化等を踏まえ、拠点機能を維持しつつ、サービスの内容や役割のあり方について検討を進め、地域における中核的な役割を引き続き果たしていくことを期待する。		

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡県桜の園 (身体障害者福祉施設)]

静岡県桜の園 (重度障害者生活訓練ホーム)]

課名 [障害福祉企画課]

指定管理者名 [社会福祉法人 恩賜財団済生会支部静岡県済生会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(1) 事業の円滑な実施						
(ア) 事業計画書等 に示された事業が予定どおり、円滑に実施された	4	4	4	4	3	3.8
(イ) 仕様書に掲載されている5年後の目標を達成しているか 1日平均利用者数： 施設入所支援50人／生活介護（入所）50人 短期入所5人／生活介護（通所）25人	3	4	4	4	2	3.4
(ウ) 事務事故等を防止するための取組が行われた	4	4	5	4	4	4.2
(2) 適正な人員配置						
(ア) 専門的な資格を有した人員について、適切な人事配置が行われた	4	4	4	5	4	4.2
(イ) 施設運営上必要となる職員の教育・研修が計画的に実施された	4	4	5	5	4	4.4
(3) 施設の適切な保守・管理・点検・清掃等						
(ア) 専門技能を有した第三者への業務委託等を実施し、施設・設備の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された	4	4	4	5	4	4.2
(イ) 緊急時・事故発生時において迅速な対応と市への連絡・報告がなされた	4	4	5	4	4	4.2
(ウ) 各種マニュアルを整備し、適切な防災・救急訓練等が定期的に行われた	4	4	5	4	4	4.2
(4) 会計・庶務事務等						
(ア) 健康診断の実施等、利用者の健康把握に配慮し、また個人情報の保護が適正に行われた	4	4	4	4	4	4
(イ) 適切な経理がされており、健全な運営がなされた	4	5	4	5	3	4.2
小 計	39	41	44	44	36	40.8

2 指定管理者の創意工夫						【配点15点】
(ア) 指定管理者のもつ専門性・技術・ネットワーク等を活かした事業が実施された	4	4	5	4	4	4.2
(イ) サービスの質の向上に向けた取組が積極的に行われた	4	5	5	4	4	4.4
(ウ) ボランティアや学習体験活動等の受入れに対する姿勢や体制を確立した	5	4	5	5	4	4.6
小 計	13	13	15	13	12	13.2
3 市民（利用者）のサービスの向上						【配点15点】
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた	4	4	4	4	3	3.8
(イ) 利用者満足の向上のため、専門的知識、技能職得等職員の資質向上がなされた	4	4	4	5	4	4.2
(ウ) 利用者及び保護者からの意見を積極的に収集する体制を構築し、寄せられた意見等の対応が適切になされた	4	4	5	4	4	4.2
小 計	12	12	13	13	11	12.2
4 施設固有の評価項目						【配点20点】
(ア) 地域と利用者、また利用者同士の交流を図る等、開かれた施設運営が行われた	4	4	5	4	4	4.2
(イ) 利用者にとってサービスの向上（利用者に応じたレクリエーション活動、食事内容、送迎サービスの充実等）を図る取組を積極的に行った	4	4	4	4	4	4
(ウ) 利用者との良好な関係の保持のための取組が積極的に行われた	4	4	4	4	4	4
(エ) 定員に対する利用者の現状を把握し、利用率の向上に向けた取組が行われた	4	4	4	4	4	4
小 計	16	16	17	16	16	16.2
合 計	80	82	89	86	75	82.4

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・立地上の特性もあるが、近隣の少年院との連携（奉仕活動受入）は評価したい。 ・身体障がい者へのセーフティネットとして不可欠な入所の支援に適切に取り組まれている。 ・拡大したいという知的障害の受入は今後も研究課題と思われるが積極的な取組をお願いしたい。
【B評価委員】
・経理を通じて組織の課題を明らかにしており、それに対する取組も着実に進んでいる印象を受けました。 ・発達障害や強度行動障害に係る知見を職員一人一人に広める取り組みや利用者への具体的対応が可視化できるような記載があれば、なおわかりやすいと感じました。 ・発達障害や強度行動障害に対する知見を全ての職員に広げるための取組が見える化されるとなおよいと感じました。 ・全体的に管理運営が良くなされている。
【C評価委員】
・防災訓練において、同じことの繰り返しではなく、実体験、地域性に基づいた訓練になっていて安心できます。R 6年度の避難も訓練の成果かと思われます。 ・職員間での共有不足があるのか、保護者意見として「人によって違う」というような思いもあるようでした。皆さんで共有して寄り添ってもらえる方向へ改善してほしいです。 ・利用率の向上はこれからも案を練って続けてほしいです。研修も含め、専門性のある特化した施設であると自信持って進めてほしいです。 ・4事業を実施されている桜の園だからできること、連携も保てることも多く、通所と入所が同一区内であるメリットも大きいと思います。利用者やご家族からの評価も高く、今後も丁寧なサービスの提供をお願いします。
【D評価委員】
・平均障害支援区分が「5.5」と重度の身体障害のある方の支援を担う重要な拠点施設である。 ・短期入所の利用が目標値に達しない面があり更なる周知活動をお願いしたい。在所期間の両極化が見られることで、有期限で有目的の支援の実績についても発信してほしい。 ・少年院との交流により、院生が利用者と接することで更生の意識が増進したことはすばらしい取組と思います。障害のある方の存在が良い影響を与えることについても利用者さんにフィードバックしていただければと思います。 ・利用者の満足度全体としては高いが、一部入浴について職員の対応についての提案もあり対応が必要である。 ・入所者についても自施設以外の利用を認める等、本人の希望にそった対応をしている。 ・職員の対応にも限界があるので、利用者個々の意向を確認するために傾聴ボランティアの導入も検討していただきたい。 ・良好な状況であり、仕様書や事業計画等の基準を十分に満たしている。 ・医療ニーズ（入院等）も高いが、済生会病院との連携により実施されていることは大きな安心感である。 ・利用者さんの生活圏の拡大について努力されていると認められるが、個別の外出について地域やボランティア等の更なる連携について検討していただきたい。

- ・地域に対して、地域移行の例等、好事例の発信をしていただきたい。

【E評価委員】

- ・（１について）概ね良好な状態であり、仕様書や事業計画等の基準を十分に満たしているが、（１）・（イ）については、改善の努力は認められるものの課題があり、基準を満たしていない、（４）・（イ）については改善の余地ありと評価した。
- ・（２について）概ね良好な状態であり、仕様書や事業計画等の基準を十分に満たしていると評価した。
- ・（３について）概ね良好な状態であり、仕様書や事業計画等の基準を十分に満たしているが、（ア）については、改善の努力は認められるものの課題があり、基準を満たしていないと評価した。
- ・（４について）概ね良好な状態であり、仕様書や事業計画等の基準を十分に満たしていると評価した。
- ・総じて概ね良好な状態であると評価するが、「１日平均利用者数」に関しては、Ｒ４年度から７年度のいずれの年度においても年度ごとに設定している目標値に届いていないため基準を満たしていない、また、収支に関しては、Ｒ６、７年度において黒字に転じているが、改善の余地ありと評価した。

評価委員会としての意見

- ・本施設については、重度身体障がい者への支援を担う重要な拠点として、適切な管理運営が行われており、総じて良好な状態にあると評価する。
- ・職員の配置や研修の実施、医療機関との連携体制の確保、防災・安全対策などについては適切に実施されており、利用者の安全・安心な生活環境の確保に寄与している。
- ・利用者数が目標値に達していない項目があることや、職員間の支援のばらつきに関する意見、発達障害や強度行動障害への対応の共有・見える化などについては課題が認められる。
- ・今後は、これらの課題に対する具体的な取組を進めるとともに、当該施設の専門性を活かした支援の一層の充実と情報発信に努め、利用者満足の向上及び地域に開かれた施設運営が推進されることを期待する。